

<質疑一覧>

Q 1

プールが屋上配置となっている。地上配置の方が建設費やその後の維持管理を含めてコストが抑えられそうだが、コスト比較をどのように行ったのか。

A 1

当初配置していた体育館棟の屋上は、構造上の強化が必要となり、コストが高かった。一方、設計事業者からの提案で、教室棟の屋上であれば構造上の強化が必要無く、維持管理も含めて、地上に配置する場合とコストが変わらないことから、グラウンドを広く取れるメリットがある屋上配置とした。

Q 2

仮設校舎を既存プレハブ校舎の西側や既存プールの位置に配置すれば、工事中も校庭が広くなりそうだが、検討されたのか。

A 2

今回設置する仮設校舎が大規模であるため、既存プレハブ西側や既存プールの位置には設置できないことから、現在の位置となった。なお、少しでもグラウンドエリアを広く取るため、仮設校舎の規模は最低限のものとなるよう検討を進めてきた。

Q 3

全体の工事スケジュールは、今後、後ろにずれ込む可能性があるのか。

A 3

本日の資料で示したスケジュールで進めていけるものと考えている。

Q 4

①工事期間中の校庭代替地への移動について、児童の安全確保に不安がある。必要に応じてミラーの設置等検討してほしい。

②工事車両の通行ルートはどうなるのか。③騒音については配慮していくとのことだが、防音壁や防音シートの仕様はどうなっているのか。

A 4

①校庭代替地への児童の移動ルートについては、往路は、学校東側の押しボタン式信号を渡り、東町公園を越えて1ブロック進んで左折し北上後、校庭代替地南側の道路を横断して校庭代替地へと至るルートを考えている。また、復路は、東町公園北側と西側を通過して押しボタン式信号を渡り学校へ戻るルートを想定している。また、安全確保策として、校庭代替地南側道路に横断歩道を新設するほか、担任の引率補助員として警備員を増員する。ミラーの設置は考えていない。

②工事車両の通行ルートについては、工事のフェーズごとで変わっていくことが想定されるが、学校敷地周辺の東西北の全ての道路を通行することとなる。施工業者が決定すれば、詳細に検討が進むため、改めて説明会等でご案内する。

③防音シートは、工事エリアに設けられる足場の外側に設置する。シート状のもののほか、工事に合わせてパネル型のものを選択することもある。騒音については、工事を行う際には必ず出てしまう。特に周辺にお住まいの方にはご迷惑をおかけするが、少しでも低減できるよう配慮していきたい。

Q 5

学校西側には保育園がある。保育園の送迎時や散歩、午睡など保育園の活動との兼ね合いを心配している。

- ①工事車両の出入りの時間帯や音、頻度について。
- ②給食センタートラックの出入りの時間帯や音について。
- ③保育園と良く調整しながら進めてほしい。

A 5

- ①工事車両の出入りは、登下校時間を避けるなど、小学校の児童に影響ない時間帯で行わせる予定である。音や振動は発生してしまうが、できる限り配慮するよう施工業者に指導していく。頻度は、工事のスケジュールによるため、随時お知らせしていくよう検討したい。
- ②給食センターのトラックは、午前 11 時台に搬入し 13 時 30 分頃に搬出するのが基本となる。
- ③工事の予定や状況については随時お知らせしていく。また、説明会なども随時開催していく。

Q 6

- ①建物の高さはどのくらいか。
- ②工事期間中の稼働曜日はどうなるのか。

A 6

- ①体育館棟も含め、最も高いところで 20m 弱である。
- ②工事の稼働は、月曜日から土曜日を基本とする。

Q 7

- ①校庭代替地と敷地内に残るグラウンドの利用は、学年で分けられるのか。
- ②工事期間中、プールの授業ができない年度は無いと考えてよいか。
- ③給食が給食センターから配食される時期はいつか。

A 7

- ①お見込みのとおり、敷地内グラウンドは低学年が利用し、移動を伴う校庭代替地は高学年が利用することを想定している。
- ②そのとおりである。既存プールもしくは新プールのいずれかで授業ができる環境を維持する。
- ③給食調理場が接続している既存東校舎を解体・新築している時期が給食センターから配食される期間（フェーズ 2）となる。令和 5 年 2 月から令和 6 年 2 月の 13 箇月間を予定している。

Q 8

- ①仮設校舎の建設期間が 5 箇月間前倒しとなり、とても長いと感じる。なぜこんなに長いのか。
- ②敷地内グラウンドが狭くなり、休み時間などに児童が外遊びできなくなることが心配である。運動会や持久走大会も含めて、どのようにケアしていくのか知りたい。
- ③現在工事中の戸田東小学校・戸田東中学校は屋内プールになった。熱中症対策も考えると、今回の屋上プールも何らかの対策が必要だと感じるがどう考えているのか。

A 8

- ①約 1,000 人規模の児童たちが過ごす仮設校舎を検討していくと、かなりの規模の仮設校舎となってしまふ。そのため、建設期間も想定以上に長くなった。
- ②敷地内グラウンドについては、工事中もできる限り確保するよう検討してきた。しかし、全児童が一斉に活動するスペースは確保できないため、学年を分けて外に出る機会を設けるなど工夫

しながら児童が外遊びできるようケアしたい。また、運動会は、工事期間中は、これまで同様の内容で実施することはできないと考えている。どのように開催するのか検討中である。持久走大会については、新しい学習指導要領で求められている児童の「動きを持続する能力を高めるための運動」について、なわとびなど他の種目による代替を検討している。

③熱中症対策については、屋上プールがある市内の他校でも授業を実施できている状況から、屋内プールでなくても、授業の実施は可能だと考えている。また、戸田東小学校・戸田東中学校については、2校約2,000人の児童が1つのプールを利用することから、天候や季節に左右されにくい屋内プールとすることで授業実施可能期間の延伸を図ったという事情がある。

Q 9

フェーズ2の期間は、体育館が2つあることになるが、2つとも利用可能か。

A 9

可能である。貴重な運動スペースとして活用していく。

Q 10

①グラウンド表層の仕様はどうなるのか。土か、それとも舗装されるのか。

②学校とは無関係だと思うが、現状、学校北側の道路に大型トラックが停車することが多く、騒音など迷惑している。工事車両について同じことが起きないか不安がある。

③今後の説明会の開催予定を知りたい。

A 10

①これまで同様の土のグラウンドを想定している。スプリンクラーの設置や飛散しにくい素材を使用するなど、砂ぼこり対策は行っていく。

②工事車両については、そのようなことが無いよう施工業者に指導していく。

③詳細な工事の全体像が決まった時点、施工業者が決まった時点などに開催したいと考えている。

Q 11

仮設校舎の耐震は大丈夫か。

A 11

建築基準法等、各法令に基づいた建物を建設する。

Q 12

仮設校舎と本校舎には、それぞれ何年生が入るのか。

A 12

検討中だが、現在の案としては、既存のプレハブには4年生が入り、仮設校舎には、1、2、3、6年生と特別支援学級の5学年が入るように考えている。残る5年生は、本校舎（現東校舎）に入り、翌年度完成する新校舎に6年生として入れるよう考えている。